



SWPBS だより はじまりました！

今学期から、SWPBS（学校規模ポジティブ行動支援）に関するたよりを発行していくことになりました。学校で見られた子どもたちの望ましい姿やよいところなどを発信していきます。ぜひご家庭でも話題にいただき、褒めていただけたらと思います。よろしくお願い致します。

SWPBS(学校規模ポジティブ行動支援)とは？？

子どものポジティブな行動（望ましい行動）をポジティブな方法（促す、教える、価値づける）で増やすための支援を学校全体で組織的に行うものです。

西小では、以下のポジティブな方法で、子どもたちに支援を行っています。

促す

わかる！

何をすべきか分かるように
具体的に示す。
→西小では、望ましい姿を
このようなマトリクスに示し、
昇降口や各クラスに掲示して
います。

西小にここプロジェクト

場 面	進んで学ぶ子ども	たくましい子ども	思いやりのある子ども
授業	☐ ゆっくり、みんなに聞こえる声で話そう。	☐ 自分の意見をわかりやすく話したり、書いたりしよう。	☐ 話している人の方に体を向けて、話を最後まで聞こう。
休み時間	☐ チャイムが鳴り終わるまでに、必要な物の準備をして自分の席にすわろう。（教科書、ノート、筆箱など）	☐ ルールを守って、体を動かそう。	☐ ろうかや階段は静かに歩いて移動しよう。 ☐ 次の人のことを考えてスリッパをそろえよう。
その他	☐ 放送は動きを止めて、静かに聞こう。 ☐ 静かにそうじをしよう。	☐ 給食は食べられる量を自分で決めて食べよう。	☐ いつでも、どこでも、だれにでも自分からあいさつをしよう。

教える

できる！

望ましい行動を実行できるように、丁寧に教える。
→西小では、望ましい行動をするよさを学級で話し合ったり、
ロールプレイをしたりしながら、望ましい行動を教えました。

価値づける

やりたい！

望ましい行動に対して肯定的なフィードバックを行う。
→西小では、毎日帰りの会の時間を利用して
その日に見られた望ましい行動へのフィードバックを行っています。
望ましい行動が見られた時は、その場ですぐにフィードバックを行うことも
非常に重要です。（〇〇ができていて素晴らしいね。など）

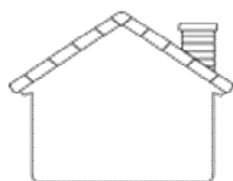
★ご協力お願いします！★

このPBS だよりでは、学校内で見られた子どもたちの望ましい姿を発信していきます。しかし、子どもたちのよいところは、学校だけでなく、おうちの中や登下校中にも見られるのではないかと思います。そこで、保護者の方や地域の方々にもご協力いただき、学校外で見られたよいところを共有していただきたいと思います。

学校の昇降口に、よいところ見つけの掲示をしています。子どもたち同士で気づいた友だちのよいところや望ましい姿をカードに記入して掲示しています。そのカードは、子どもだけでなく、保護者の方や地域の方にも記入していただけるようになっています。誰が記入したカードなのかをわかりやすくするために、形や色を変えています。カードの形は以下の通りです。

保護者

(家の形のカード)



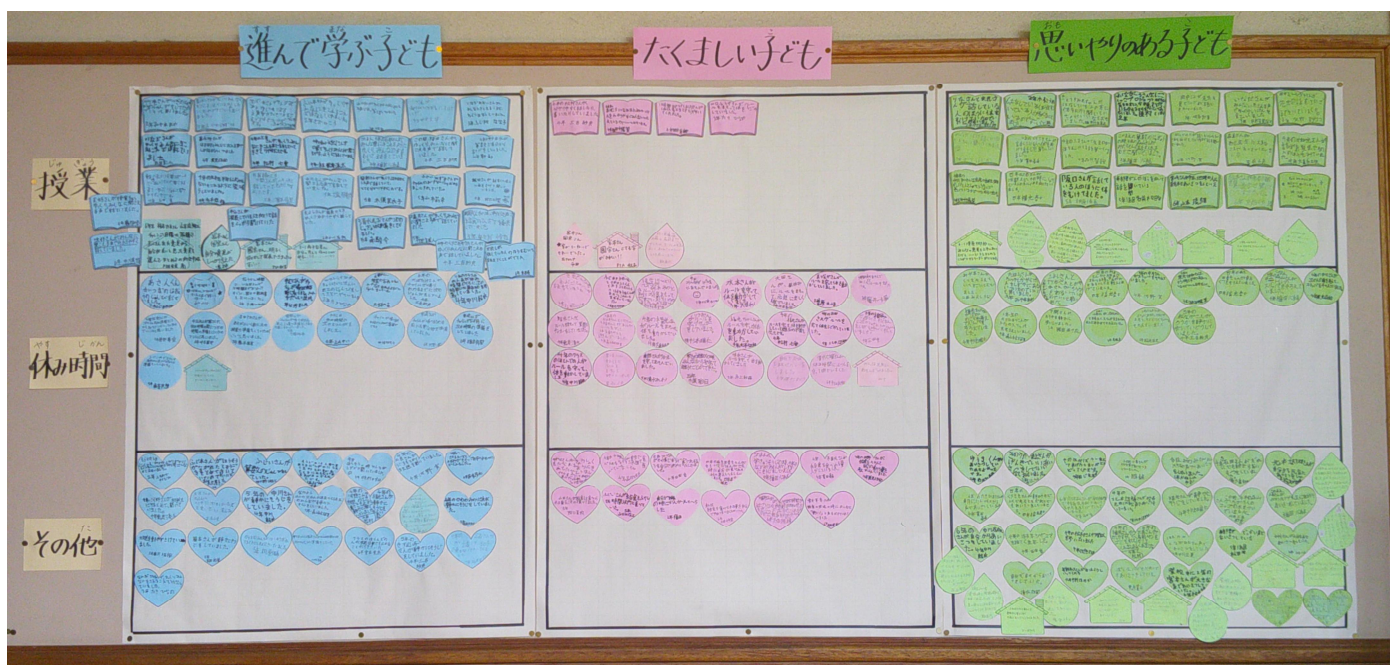
地域の方々

(イチジクの形のカード)

それぞれカードは3色準備しており、こちらは、マトリクスの色で分けています。

「進んで学ぶ子ども」→青色
「たくましい子ども」→赤色
「思いやりのある子ども」→緑色

マトリクスには、学校生活についてのことが書かれていますが、おうちや地域に置き換え、子どもたちの良いところを記入していただけると嬉しいです。
この掲示は、マトリクスとリンクしています！



★お願い★

9月7日（土）の参観日の際に、授業や休み時間での子どもたちのよい姿や望ましい行動などを見つけていただき、昇降口等に置いてあるカードに記入していただけたらと思います。カードは常時設置してありますので、7日だけに限らず、来校された際などに記入していただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。